

2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年8月7日 東

上場会社名 株式会社朝日ネット 上場取引所
 コード番号 3834 URL <https://asahi-net.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土方 次郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員社長室長 (氏名) 小松 大 (TEL) 03-3541-8311
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の業績 (2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	2,534	5.6	394	57.6	430	69.3	294	64.2
2019年3月期第1四半期	2,400	5.2	250	48.9	254	47.7	179	46.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	10.27	—
2019年3月期第1四半期	6.07	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	10,354	9,024	87.2
2019年3月期	11,593	10,118	87.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 9,024百万円 2019年3月期 10,118百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	7.8	1,600	26.1	1,600	25.3	1,120	17.6	39.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期1Q	32,000,000株	2019年3月期	32,000,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	4,194,579株	2019年3月期	2,394,579株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期1Q	28,705,421株	2019年3月期1Q	29,581,421株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

業界の動向

ISP（インターネット・サービス・プロバイダ）業界においては2019年3月末のFTTH（光ファイバー）の利用者数は前年同期比106万契約増（3.5%増）の3,166万契約となり一貫して増加しております。

MVNOサービスの利用者数は前年同期比254万契約増（13.8%増）の2,094万契約となりました。そのうち高速モバイル通信やIoT（Internet of Things）/M2M（Machine to Machine）に利用されるSIMカード型の契約者数は前年同期比224万契約増（20.6%増）の1,312万契約と順調に増加しております。

インターネット接続サービスの状況

インターネット接続サービスにおいては、主にオフィスや店舗などビジネス利用による法人顧客の需要が増加しております。東京オリンピックやキャッシュレス決済、IoT/M2Mの進展によりインターネット接続環境への設備投資が後押しをしているものと考えております。

サービスでは光コラボレーションモデルを活用した「AsahiNet 光」や「ASAHIネット ドコモ光」、マンション全体での一括契約を前提としたサービス「ASAHIネット マンション全戸加入プラン」等のFTTH(光接続)サービスや、「ASAHIネット WiMAX2+」やASAHIネット LTE「ANSIM」のモバイルサービスの入会が好調に推移しております。その結果、2019年6月末のASAHIネット会員数は前年同期末比8千ID増(1.4%増)の614千IDとなりました。

また前事業年度より開始した他電気通信事業者へネイティブ方式(IPv6 IPoE)の通信帯域をローミング提供する「IPv6接続サービス」の契約も順調に推移しております。当第1四半期より新たな電気通信事業者への提供を開始したほか、既に契約を開始している電気通信事業者がエンドユーザへ提供する回線数も増加しております。

教育支援サービスの状況

教育支援サービス「manaba（マナバ）」においては2019年6月末の契約ID数は前年同期末比16千ID増（2.4%増）の662千IDとなりました。2019年6月末の全学導入校は前年同期末比4校増（4.7%増）の90校となりました。

当第1四半期は新規導入校増加に向けた施策として「manaba新規導入事例セミナー」を開催しました。導入校の教員を講師に招き、授業での多様な活用事例や効果について講演いたしました。また導入校への活用促進の施策として、新学期開始に向けたスタートアップの内容を中心に、インターネット上でWebinar(ウェビナー)形式で講習会を開催しました。

収益の状況

「AsahiNet 光」、「ASAHIネット マンション全戸加入プラン」、他電気通信事業者へネイティブ方式の通信帯域をローミング提供する「IPv6接続サービス」などの拡販により売上高、営業利益共に増加しております。2020年3月期の事業計画に対してはほぼ計画通りに進捗しており、業績予想の変更はございません。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は2,534百万円（前年同期比5.6%増）、営業利益は394百万円（同57.6%増）、経常利益は430百万円（同69.3%増）、四半期純利益は294百万円（同64.2%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当第1四半期会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりであります。

(資産)

当第1四半期会計期間末の流動資産合計は7,827百万円（前事業年度末比1,165百万円減）となりました。また、固定資産合計は2,526百万円（同74百万円減）となりました。

以上の結果、当第1四半期会計期間末の資産合計は10,354百万円（同1,239百万円減）となりました。

(負債)

当第1四半期会計期間末の流動負債合計は1,328百万円（同145百万円減）となりました。

以上の結果、当第1四半期会計期間末の負債合計は1,329百万円（同145百万円減）となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産合計は9,024百万円（同1,094百万円減）となりました。減少の主な理由は自己株式の取得により、自己株式が1,085百万円増加したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は87.2%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年5月9日に公表した業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,010	2,470
売掛金	1,622	1,616
有価証券	2,200	3,400
貯蔵品	70	200
その他	110	163
貸倒引当金	△21	△23
流動資産合計	8,992	7,827
固定資産		
有形固定資産	1,090	1,035
無形固定資産	359	383
投資その他の資産	1,151	1,107
固定資産合計	2,601	2,526
資産合計	11,593	10,354
負債の部		
流動負債		
買掛金	520	518
未払金	477	392
未払法人税等	374	129
その他	101	287
流動負債合計	1,474	1,328
固定負債	1	1
負債合計	1,475	1,329
純資産の部		
株主資本		
資本金	630	630
資本剰余金	783	783
利益剰余金	9,545	9,573
自己株式	△1,017	△2,103
株主資本合計	9,940	8,883
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	177	140
評価・換算差額等合計	177	140
純資産合計	10,118	9,024
負債純資産合計	11,593	10,354

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	2,400	2,534
売上原価	1,707	1,698
売上総利益	692	836
販売費及び一般管理費	441	441
営業利益	250	394
営業外収益		
受取配当金	2	35
不動産賃貸料	1	1
その他	0	0
営業外収益合計	3	37
営業外費用		
自己株式取得費用	—	1
不動産賃貸費用	0	0
その他	—	0
営業外費用合計	0	1
経常利益	254	430
特別利益		
投資有価証券売却益	6	—
特別利益合計	6	—
特別損失		
固定資産除却損	0	4
特別損失合計	0	4
税引前四半期純利益	259	425
法人税等	80	131
四半期純利益	179	294

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年5月9日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,800,000株の取得を行いました。この結果、当第1四半期累計期間において自己株式が1,085百万円増加し、当第1四半期会計期間末において自己株式が2,103百万円となっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。